



あなたに寄り添う産後ケア

～江戸川区で安心できる子育てのスタートを～

【産後ケアの必要性】

- ◆ 出産年齢の高齢化高止まりによる母体への負担
- ◆ 周りに頼る人がいない中で、孤独な子育てになりやすい(図1)
- ◆ 出産後の母親の心と体は大きなダメージを受けている (図2)



第三者が関わることで心身共に健全な子育てのスタートを切ることが期待できる

【未来の江戸川区の寄り添う産後ケア】

■ 区の中期計画にもある区内産婦人科と連携し、全ての方へ産後ケアの周知・実施意向確認

→ 産後に特化した区のサポートをまとめた冊子(日本語・多言語)を配布

■ 産後ケアとママパパ応援隊やベビーシッターを組み合わせたパッケージプランを制定

■ 2人目以降出産時、取り残される兄弟のフォロー体制の構築

■ 英語でのサポートができる人員配置や資料作成

■ 現在ある訪問型産後ケアのさらなる充実化

→ 産後ケアを行っている民間企業のサポートと連携し、産後の家族に幅広い選択肢を提案

例: 産後ドゥーラ、ベビーシッター、マッサージ、整体、母乳外来等のサービスと連携しそれを

マッチングするコーディネーターを設置し産後を伴走→ 区の助産師、保健師の負担軽減

最終目的: どんなバックグラウンドの人であっても寄り添い、最も安心して子育てできる江戸川区に

子供を産み育てやすい国だと思う理由

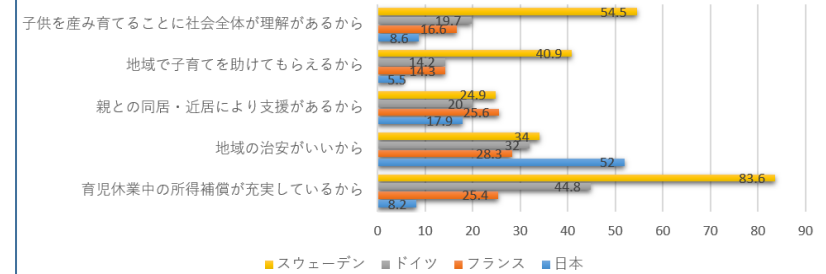


図1: 令和2年度「少子化社会に関する国際意識調査」報告書より質問事項抜粋

産後1年未満に自殺した母親



図2: 引用「知って欲しい”産後のうつ”～92人自殺の衝撃～」NHK NEWS WEB

